

## 閉会の挨拶

倉田敬子（文学研究科委員長）

論理と感性のグローバル研究センターの2019年度の報告会が、ウェブ上での開催となり残念ではありましたが、21世紀COE、グローバルCOEの時代を含めて18年間にわたり、文理融合の諸領域で成果を公開されてきたことに敬意を表したいと思います。これも本センター設立以来センター所長を務めてこられた岡田光弘文学部教授（文学研究科委員）の熱意の賜と思います。岡田さんがこの3月で定年になられ、安藤寿康文学部教授（社会学研究科委員）が新所長に就任なさるとのこと、今後は新所長の下でさらなる成果を積み重ねられることを期待しております。